

第52回全国高等学校選抜卓球大会中国地区予選会要項

主催 中国高等学校体育連盟 山口県卓球協会 山口県高等学校体育連盟
後援 山口県教育委員会 下関市教育委員会
主管 山口県高等学校体育連盟卓球専門部

- 1 期 日 令和6年12月21日(土)～23日(月)
2 会 場 下関市総合体育館(J:COMアリーナ下関)
〒750-0041 山口県下関市向洋町一丁目11番1号 TEL 070-2919-8017
3 種 目 (1)男子学校対抗 (2)女子学校対抗
4 日 程

第1日(12月21日) 11:00～受付・練習 12:00～監督会議 13:00～オーダー提出(男子)
13:20～オーダー提出(女子) 13:45～開会式
14:00～学校対抗予選リーグ2試合
第2日(12月22日) 9:00～学校対抗予選リーグ1試合・決勝リーグ4試合
第3日(12月23日) 9:00～決勝リーグ3試合 競技終了後閉会式

5 競技規定

- (1) 現行の日本卓球ルールによる。
- (2) 背中に日本卓球協会指定のゼッケンをつけること。競技用ユニフォームは日本卓球協会公認マークが付いたものとし、色・柄の異なったものを2着以上持参すること。
- (3) 監督は学校長が認めた指導者であること。(外部指導者は損害賠償保険に加入の事)
- (4) タイムアウト制を適用する。
- (5) 部旗の掲示は200×150cm以内のものを1枚認める。
- (6) 接着剤の使用は指定された場所のみで認める。

6 競技方法

- (1) 選手登録人数は4名以上8名以内とする。補欠は認めない。外国籍選手は2名以内とする。この他に審判員2名を引率すること。
- (2) 勝敗は4シングルス1ダブルスにより3点先取で行う。外国籍選手は1回のみ出場できる。
- (3) 3チームずつ8組に分けての1次リーグ。各リーグ1位8校による決勝リーグを行い、中国ブロック代表を決定する。(今年度の中国ブロック代表枠は男女とも5校) *出雲北稜高校は推薦出場
- (4) 試合は4コートを使用して行うことがある。

7 使用球 バタフライ、VICTAS、ニッタク公認球(40mmホワイトプラスチックボール)

8 参加資格

- (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。ただし、高等学校通信課程、専攻科及び別科の生徒を除く。
- (2) 選手は各県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒で、当該競技要項により中国ブロック予選会の参加資格を得たものに限る。
- (3) 学校対抗は、最高学年を除いてチーム編成しなければならない。すなわち、平成18年4月2日から平成21年4月1日に生まれた2年生以下の者とする。ただし、学校対抗においては、2回までとし、同一学年での出場は1回とする。
- (4) チームの編成は全日制課程と定時制課程と通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後6か月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)ただし一家転住等、やむを得ない理由で各ブロック高体連会長・各県専門部が認めた者を除く。
- (7) 外国籍選手の出場については、全国高体連卓球専門部の規定による。
- (8) 本大会に出場する選手は予め健康診断を受け、在学校の学校長の承認を必要とする。
- (9) 選手は当該年度に(財)日本卓球協会に登録された者であること。
- (10) 学校対抗の選手変更については原則として認めないが、以下の条件で認めることがある。
病気等によりやむを得ない場合は、用紙に事由を記入し(学校長印、顧問印必要)、診断書を添え、各県専門委員長を通じて本大会監督会議までに審判長へ届け出て承認を得るものとする。

(11) 参加資格の特例

ア 上記(1)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、各県高等学校体育連盟が認めた生徒について別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ 上記(3)について、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、2回限りとする。

(12) 大会参加に際しては、当該校の教職員が引率するとともに、万一の事故に備えて傷害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。

【大会参加資格の別途に定める規定】

1 学校教育法第72条、第115条、第124条及び134条の学校に在籍し、各県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

- ① 全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- ② 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
- ③ 各学校にあっては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、本予選会への出場条件が満たされていること。
- ④ 各学校にあっては部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導の下に適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていないと認められること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

- ① 全国高等学校選抜大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- ② 大会参加に際しては、当該校の教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。
- ③ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9 参加数 各県20(4×5)＋開催県2＋前年度優勝の県＋準優勝校の県各1＝24

ただし、前年度全国選抜大会に無条件出場した学校は、前年度今大会優勝したものとみなす。

※前年度全国選抜で優勝の出雲北稜(島根)は、本大会へ推薦出場。男子島根に1枠

※前年度中国予選男子優勝扱い野田学園(山口) 女子優勝 山陽学園(岡山) 準優勝 明誠(島根)

以上のことより令和6年度中国地区予選会参加数は以下のとおり

男子…山口⑦、岡山④、広島④、島根⑤、鳥取④

女子…山口⑥、岡山⑤、広島④、島根⑤、鳥取④

10 参加料 1チームにつき16,000円

11 表彰 学校対抗 第8位までを表彰する。

12 参加申込

- (1) 各校監督は、別紙参加申し込み用紙に男女別を明記し、参加料を添えて令和6年11月8日(金)までに、各県委員長宛に申し込むこと。
- (2) 各県委員長は、とりまとめたデータを令和6年11月15日(金)までに山口県委員長にメールで送信すること。各校の参加料および校長印を押した申し込み用紙は5県委員長会議に持参のこと。

13 宿泊・弁当

- (1) 希望者は別紙宿泊・弁当申込要項により申し込む。《申し込み先》「日本ツーリストクラブ株式会社」

14 連絡事項

- (1) 出場選手、役員は必ず引率責任者が引率し、引率責任者は選手の行動に全責任を負うものとする。
- (2) 参加選手、役員は健康保険証を持参する。
- (3) 練習会場、練習時間について
12月21日(土) 11:00～13:30(メイン・サブ) 14:00～17:00(サブ)
12月22日(日) 8:00～8:50(メイン) 8:00～17:00(サブ)
12月23日(月) 8:00～8:50(メイン) 8:00～12:00(サブ)
ただし、サブ会場についてはエキシビジョンマッチで使用することがある。
- (4) 予選リーグ組み合わせ抽選会を、11月29日(金)各県専門委員長が抽選にて実施する。